

科目名		授業形態	担当教員名	
脳性麻痺Ⅱ（評価・訓練）		講義	山名 由香里	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
脳性麻痺児の評価や指導の実際に触れ、適切な治療・指導や支援の方法を理解することを目的とする。またAAC（拡大・代替コミュニケーション）のコミュニケーション手段の技術について講義する。				
授業の到達目標				
脳性麻痺児の認知・言語・コミュニケーションについて、重症児の問題も含め理解し、適切な治療や支援を考えることができる。脳性麻痺児の摂食・嚥下障害を理解し、適切な治療や支援を考えることができる。AACの考え方を理解し、脳性麻痺児におけるAACを用いた介入や支援を考えることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	摂食・嚥下障害			
2	摂食・嚥下障害への治療、支援			
3	言語・認知・コミュニケーションへの治療、支援（姿勢制御を中心に）			
4	重症心身障害児への治療、支援			
5	AAC総論			
6	脳性麻痺におけるAAC			
7	AACデバイス、使用事例			
8	グループディスカッション（ケースを想定し、支援方法、内容について発表する）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
入門コース ことばの発達と障害2 ことばの障害入門	西村辨作 編		大修館書店	
入門コース ことばの発達と障害3 ことばの障害の評価と指導	大石敬子 編		大修館書店	
標準 言語聴覚障害学 言語発達障害学 第2版	藤田郁代 監修		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				